

2020年7月11日 速報版

広島県における文化芸術関係者への 新型コロナウイルスの影響に関する 実態調査 報告書

調査主体：公益財団法人ひろしま文化振興財団

調査の要約

① 文化芸術関係者への影響

- 広島県で文化芸術に関わる個人および団体・事業所が調査対象、
有効回答数は529件（個人が418件、 団体・事業所が111件）
- **約9割の回答**で感染拡大防止のために中止・延期の影響がある。
(個人92%、団体・事業所95%)

② 収入の損失の規模と傾向

- 延期・中止による収入の損失額（5月までの積算額）の平均額は、
個人が約30万円、団体・事業所が約365万円
- 技能分野別に見ると、団体・事業所において、
「**技術提供**」の損失額の平均が**1,000万円**を上回る。

③ 困っていること

- 困っていることで最も多い回答は、個人では「**創作発表の機会が失われたこと**」、団体・事業所では「**公演、展覧会、イベント等**の中止や延期により**損失が発生したこと**」。
- 「**公演、展覧会、イベント等の準備や稽古ができないこと**」、
「**活動再開のタイミングや方法が分からないこと**」の回答が
個人、団体・事業所ともに多い。

④ どのような支援が必要か

- 個人、事業所とも、「**公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の支援**」のニーズが高い
- 次いで個人では、
「**文化芸術活動の再開や新規展開事業に向けた支援**」、
団体・事業所では、
「**文化芸術活動の再開時の防疫に関する情報提供や相談**」
のニーズが高い。

調査の概要

調査目的

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う活動自粛の要請等によって、広島県在住または広島県内を活動拠点としている文化芸術に関わる個人（実演家、創作者、技術者、制作者など）や団体、事業所が受けている影響やニーズ等の実態を把握することで、今後の行政や民間の文化芸術への支援の必要性や内容、方法の検討に資するとともに、広島県の文化芸術の実態を把握する契機とする。

調査対象

文化芸術に関わる個人、団体・事業所を調査対象とした。

● 文化芸術に関わる個人

- 実演家（歌手、奏者、俳優、舞踊家など）
- 創作者（作曲家、劇作家、演出家、振付家、美術家、映像作家など）
- 制作者（プロデューサー、マネージャー、コーディネーターなど）
- 技術者（舞台、音響、照明、会館管理、衣装、展示設営など）など

● 文化芸術に関わる団体・事業所

- 実演に関わる団体・事業所（楽団、劇団、舞踊団など）
- 制作に関わる団体・事業所（プロダクション、プロモーター、企画会社）
- 技術に関わる団体・事業所（技術会社、設営会社）
- 施設に関わる団体・事業所（ホール、劇場、ライブハウス、スタジオ、美術館、ギャラリー、映画館など）
- 教育に関わる団体・事業所（教室、稽古、養成所など）
- サービスに関わる団体・事業所（司会、スタッフ派遣）など

調査方法

- GoogleフォームによるウェブアンケートおよびEメール・手渡し・郵送による調査票
- 無記名による回答

調査期間

- 2020年6月11日（木）から6月25日（木）まで【15日間】

アドバイザー

大澤寅雄氏（ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室 主任研究員／文化生態観察）

回答数

- 有効回答数は合計529件（個人対象418件、団体・事業所対象111件）

	個人対象	団体・事業所対象	合計
回答総数	428	115	543
無効回答*	10	4	14
有効回答数	418	111	529

※ 重複回答、居住地（所在地）と活動地がともに広島県外の回答は無効回答とした。

調査内容

① 個人対象アンケート	頁
性別・年代	14
居住地・活動地	15, 16
活動年数	17
主たる表現分野、主たる技能分野	18, 19
感染拡大防止のための中止・延期があるか・何件か	20
延期・中止による収入の損失額	21
文化芸術活動とは別の仕事	22
技能分野別による文化芸術のみの従事者	23
別の仕事の雇用形態	24
別の仕事の収入の損失	25
現在困っていること	26
必要としている支援	27
表現分野別の必要としている支援	28
延期・中止のあるなし、損失額別による必要としている支援	29
最も必要としている支援	30
活用している、または活用を検討している支援策や制度	31

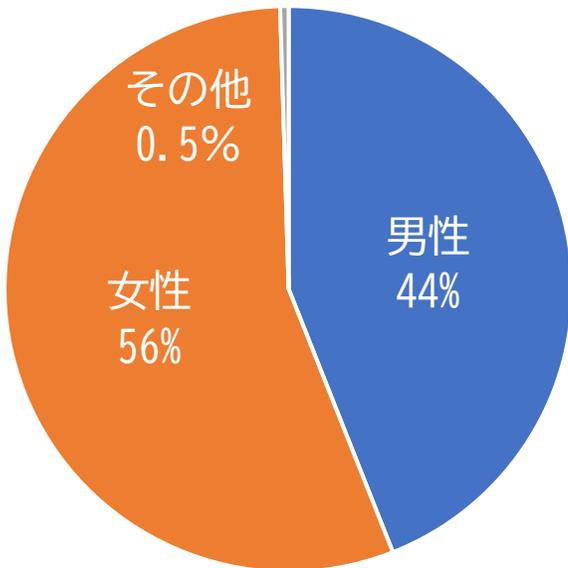
② 団体・事業所対象アンケート	頁
経営形態・活動開始年	33, 34
所在地・活動地	35, 36
団体・事業所の従業者数【有償】【無償】	37
主たる表現分野、主たる技能分野	38, 39
感染拡大防止のための中止・延期があるか・何件か	40
延期・中止による収入の損失額	41
技能分野別の収入の損失額	42
文化芸術活動とは別の業務	43
別業務の分野	44
別業務の収入の損失	45
現在困っていること	46
必要としている支援	47
最も必要としている支援	48
活用している、または活用を検討している支援策や制度	49

調査対象 ①

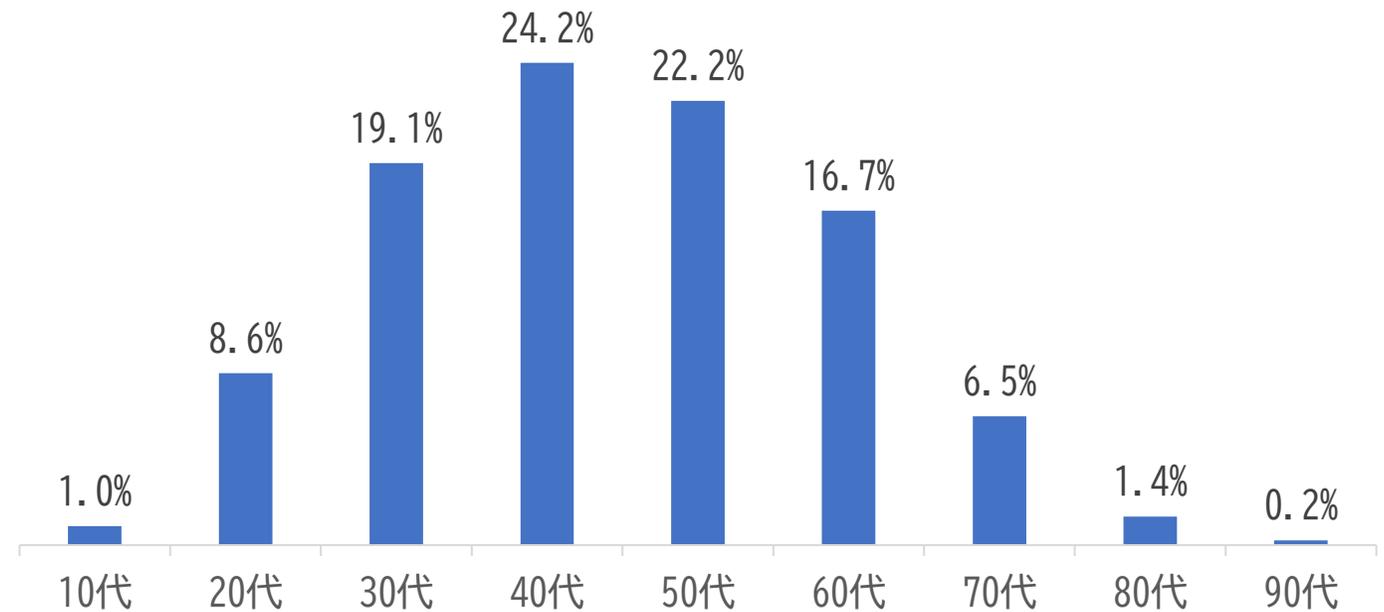
個人対象アンケート

① 個人対象アンケート | 性別・年代

56%が女性、44%が男性。40代が最も多く、10代から90代まで幅広い世代から回答があった。



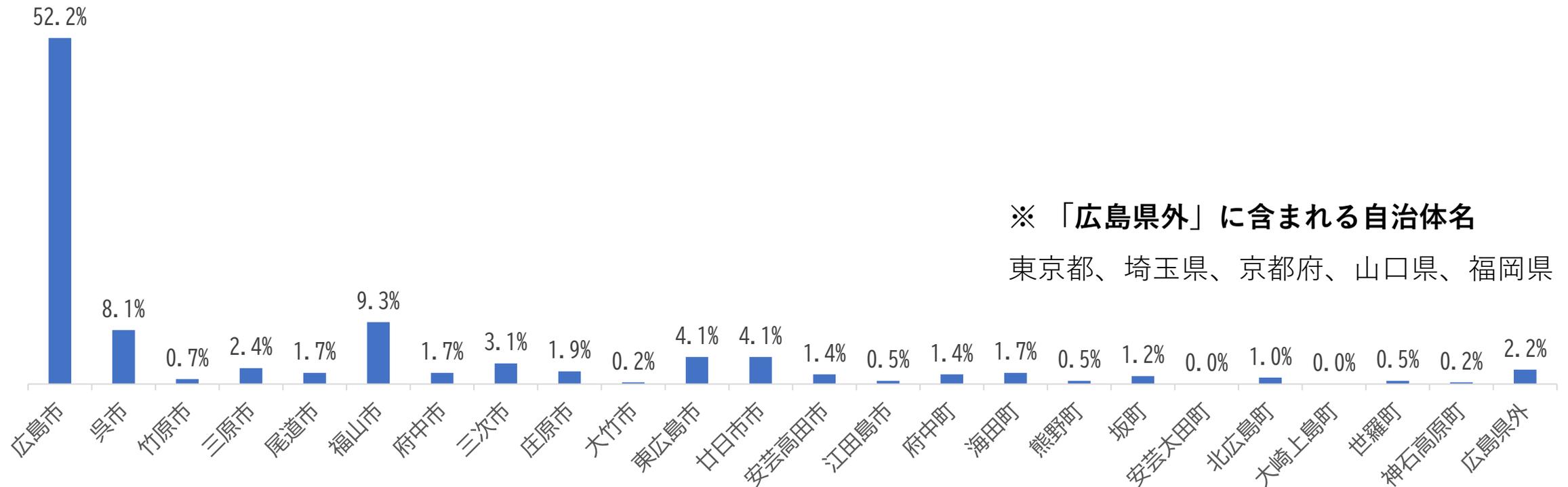
(単一回答、n=418)



(単一回答、n=418)

① 個人対象アンケート | 居住地

広島市の52.2%をはじめ、県内21市町の在住者より回答を得た。

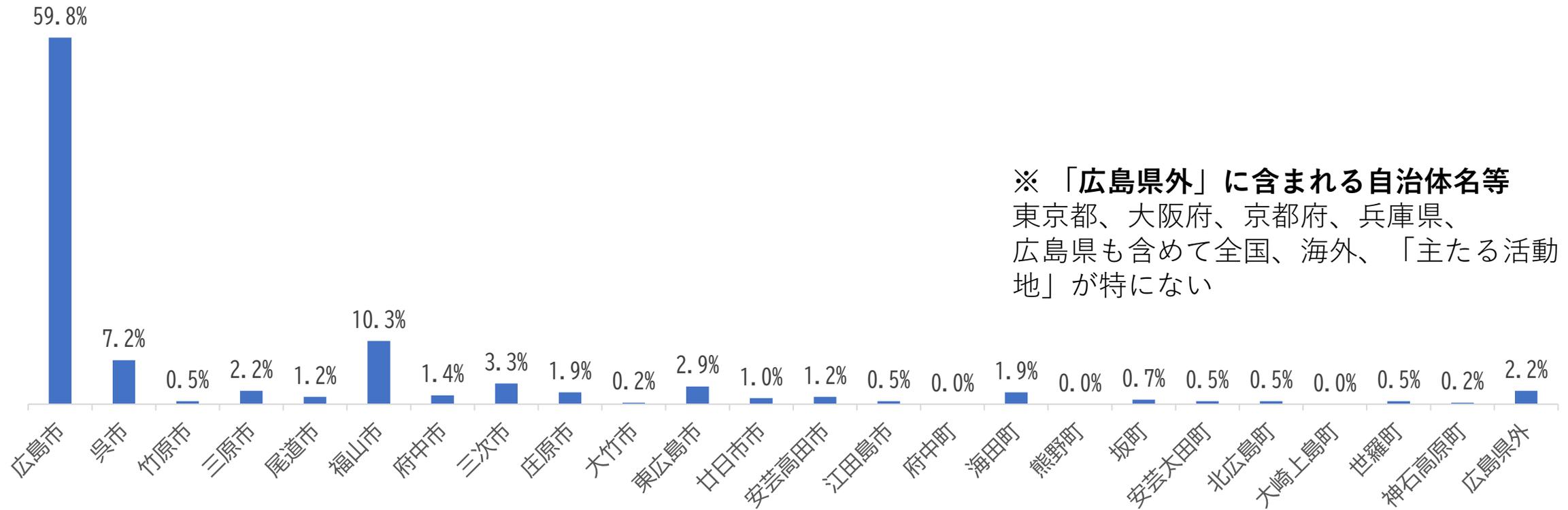


※ 「広島県外」に含まれる自治体名
東京都、埼玉県、京都府、山口県、福岡県

(単一回答、n=418)

① 個人対象アンケート | 活動地

広島市の59.8%をはじめ、県内20市町での活動者より回答を得た。

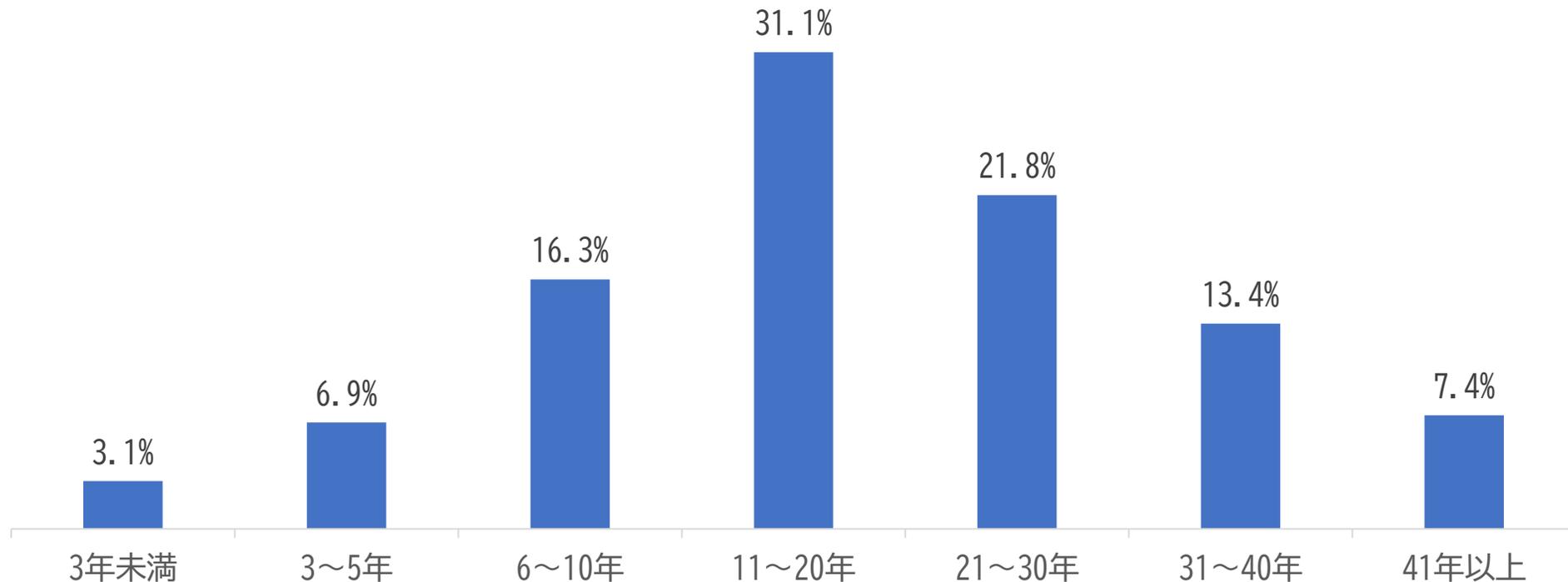


※「広島県外」に含まれる自治体名等
東京都、大阪府、京都府、兵庫県、
広島県も含めて全国、海外、「主たる活動地」が特にならない

(単一回答、n=418)

① 個人対象アンケート | 活動年数

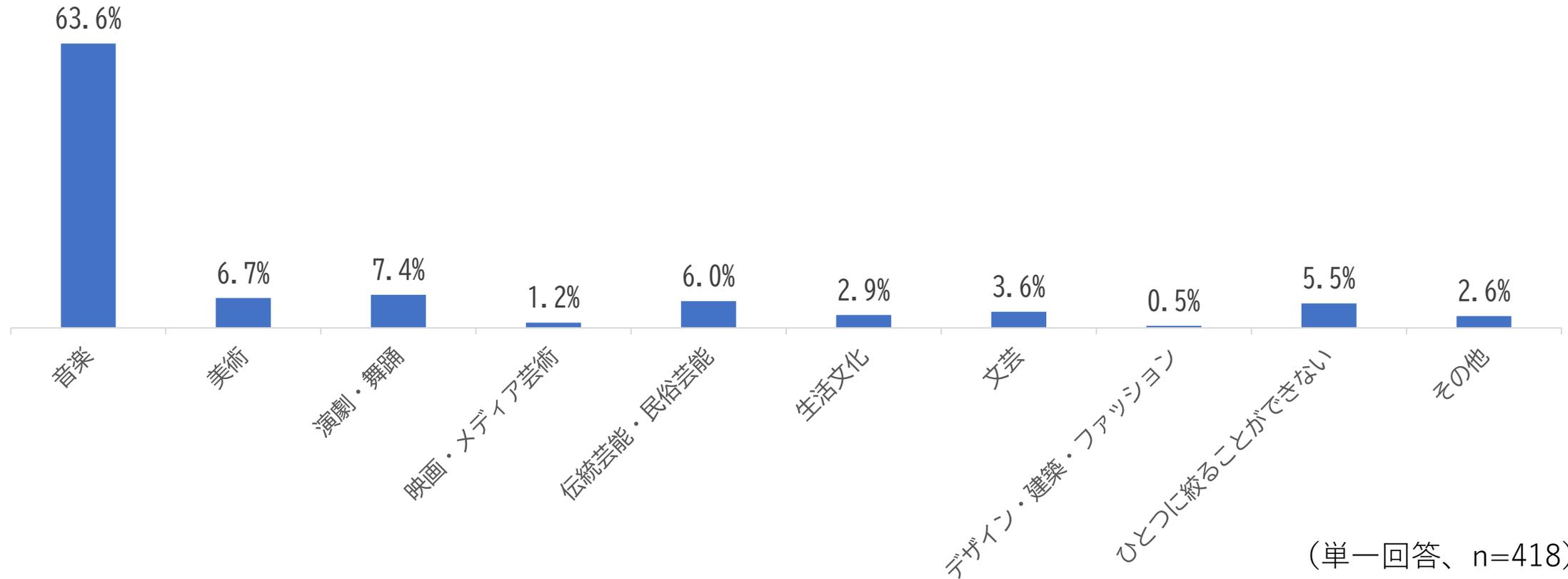
11～20年が最も多く（31.1%）、次いで21～30年が多い（21.8%）。



(数値回答を分類、n=418)

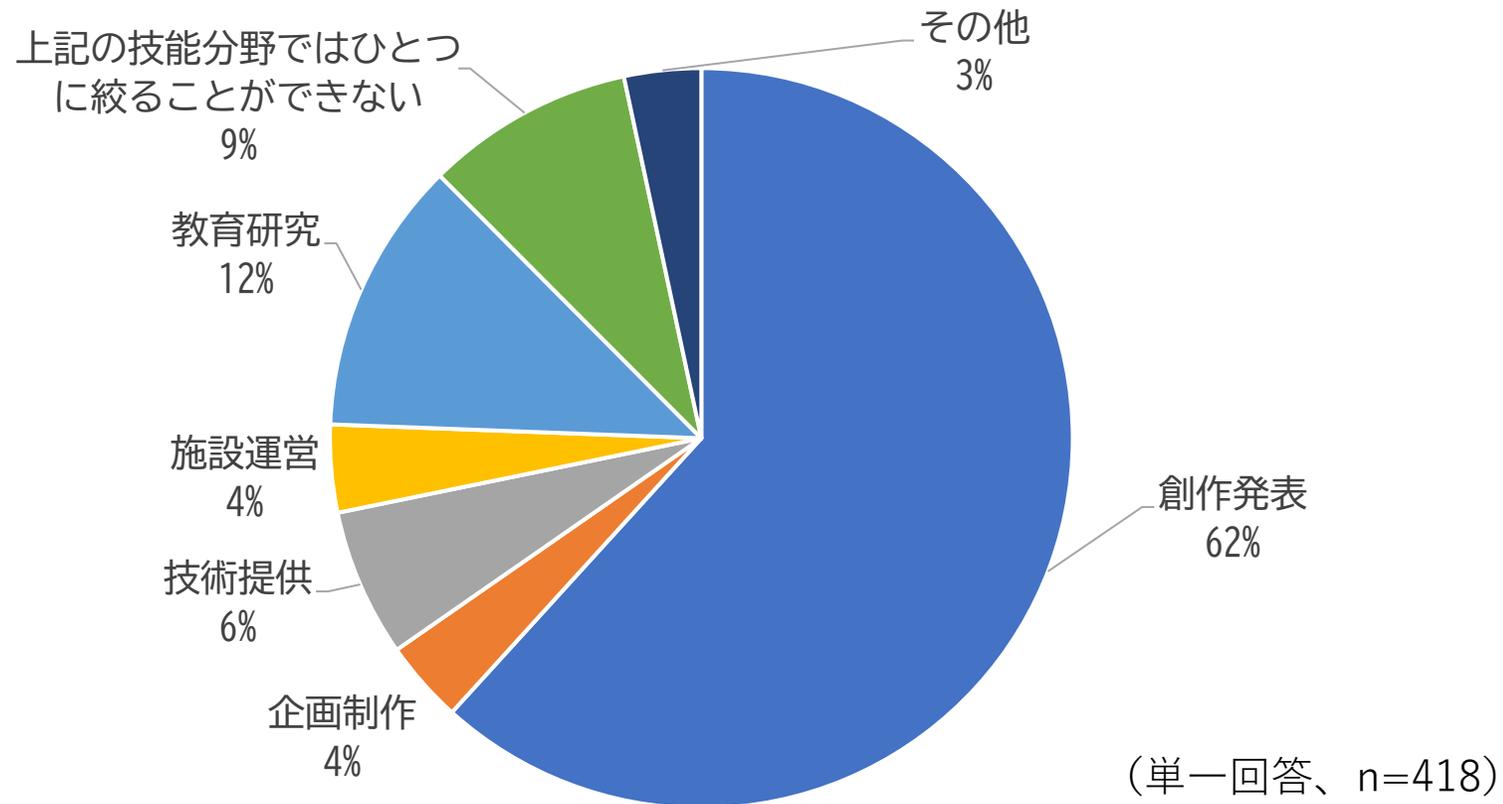
① 個人対象アンケート | 主たる表現分野

音楽分野が約6割を占める。



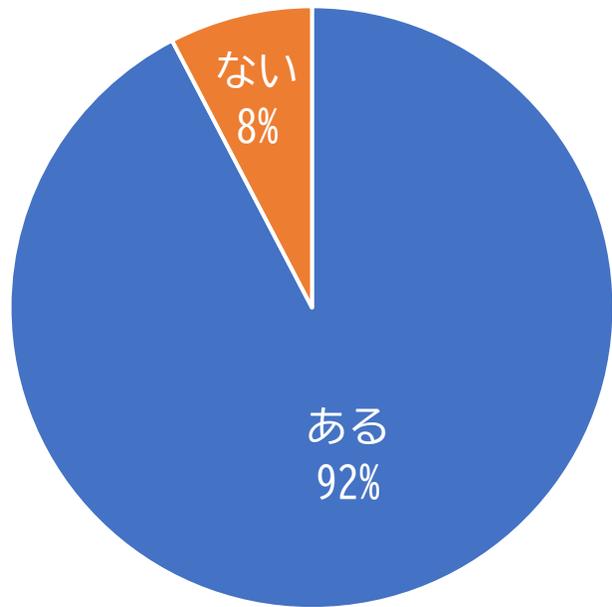
① 個人対象アンケート | 主たる技能分野

「創作発表」が最も多く62%

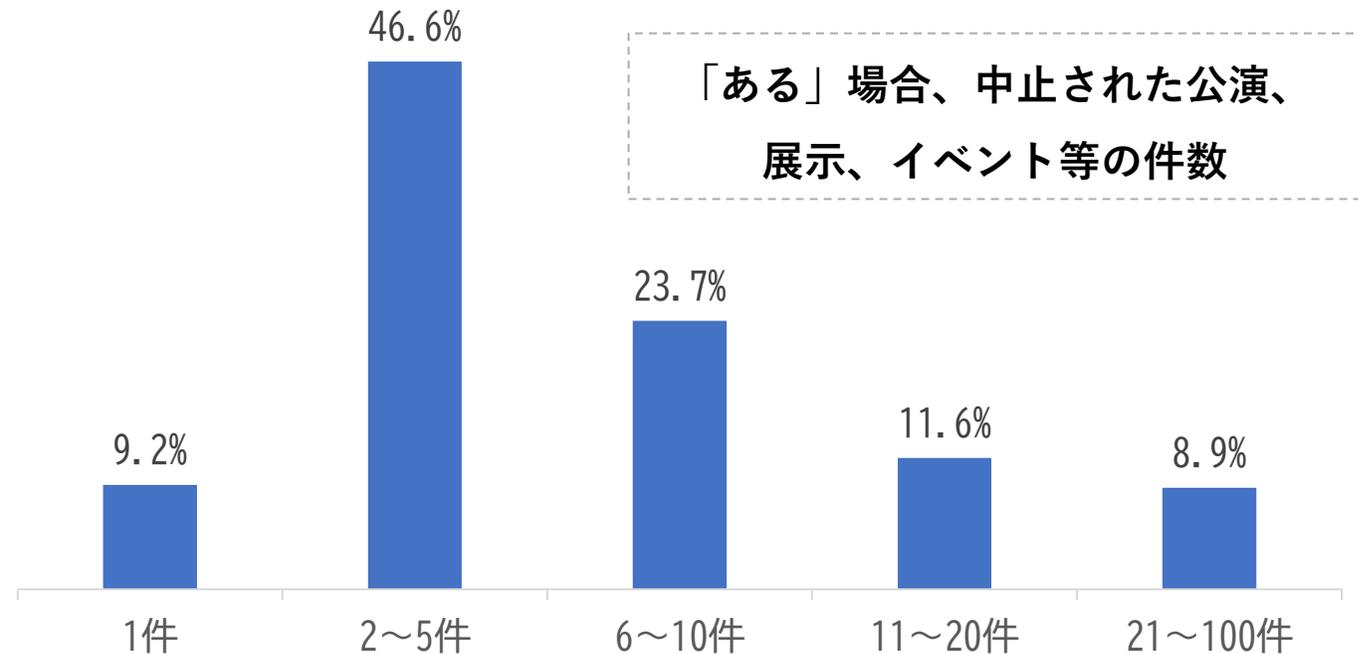


① 個人対象アンケート | 感染拡大防止のための中止・延期があるか・何件か

公演、展示、イベント等の中止・延期がある回答者が約9割



(単一回答、n=418)



「ある」場合、中止された公演、
展示、イベント等の件数

(無回答、「0件」を除き数値回答を分類、n=380)

① 個人対象アンケート | 延期・中止による収入の損失額 (損失が発生してから5月分まで)

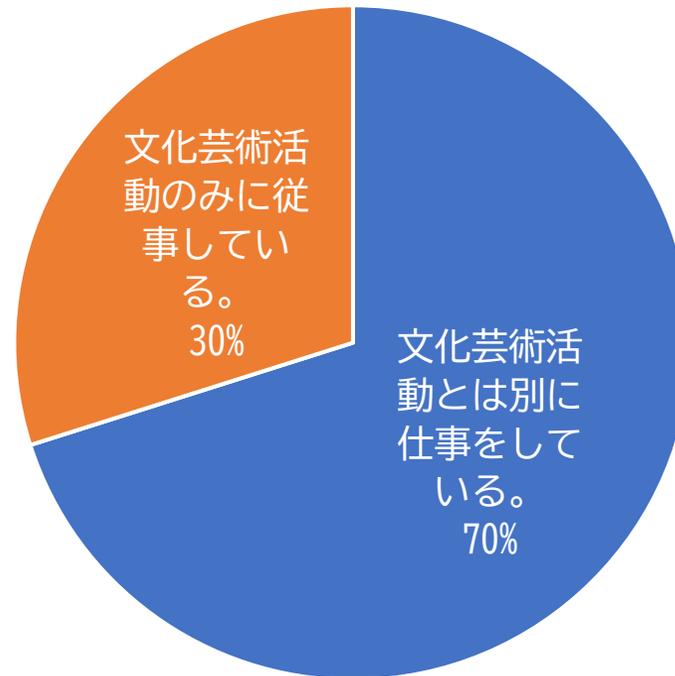
損失積算額は約1億1千万円、平均額は約30万円

収入の損失額の合計	111,707,000円
収入の損失額の平均	312,031円
最大値	15,000,000円

(n=358、無回答、異常値は除く)

① 個人対象アンケート | 文化芸術活動とは別の仕事

70%が文化芸術とは別に仕事をしており、文化芸術活動のみの従事は30%



(単一回答、n=418)

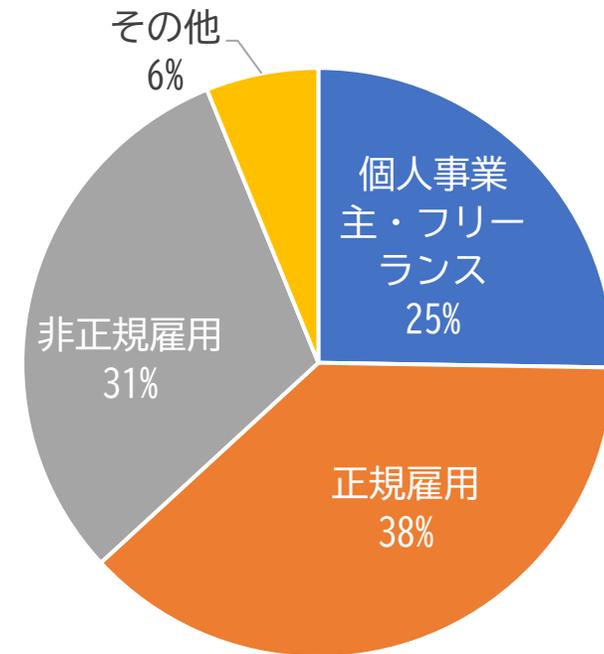
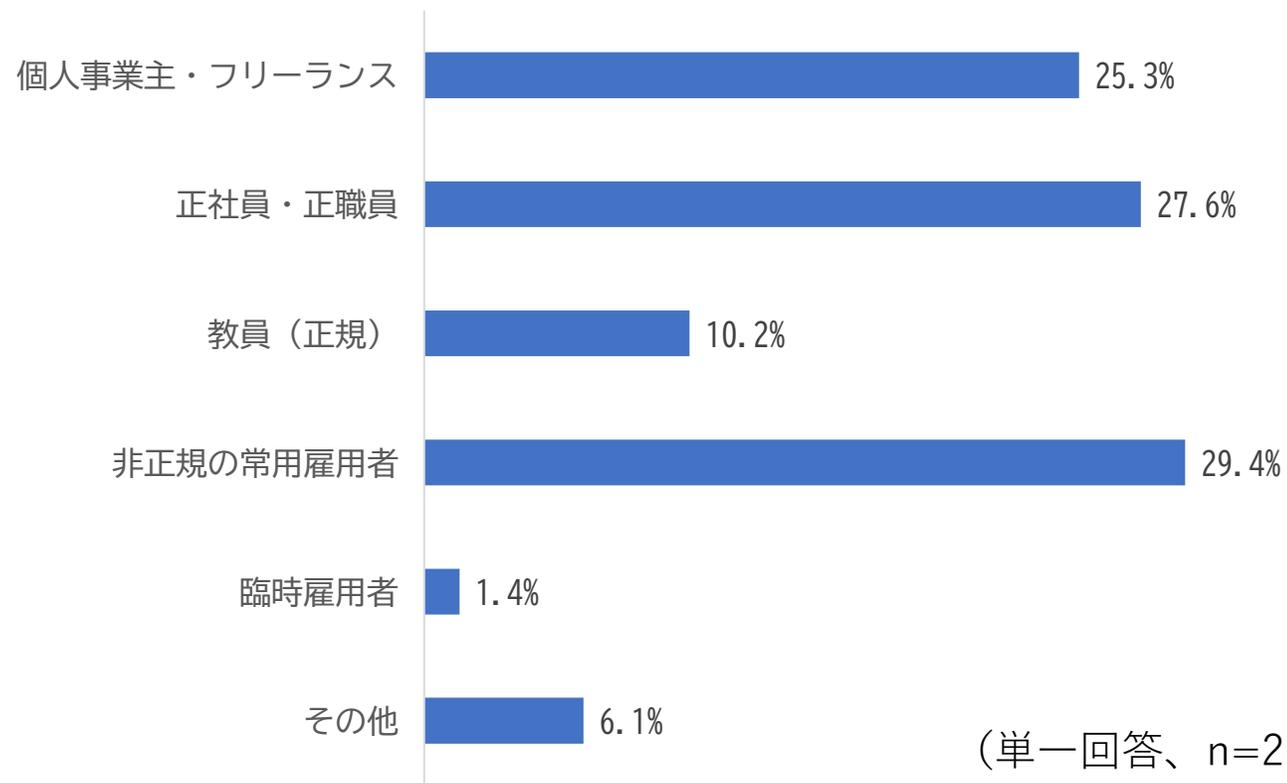
① 個人対象アンケート | 技能分野別による文化芸術のみの従事者

「技術提供」では、文化芸術活動のみに従事している回答者が59%

	文化芸術活動とは別に仕事をしている。	文化芸術活動のみに従事している。
創作発表	78%	22%
企画制作	60%	40%
技術提供	41%	59%
施設運営	50%	50%
教育研究	56%	44%
ひとつに絞ることができない	74%	26%
その他	57%	43%

① 個人対象アンケート | 別の仕事の雇用形態

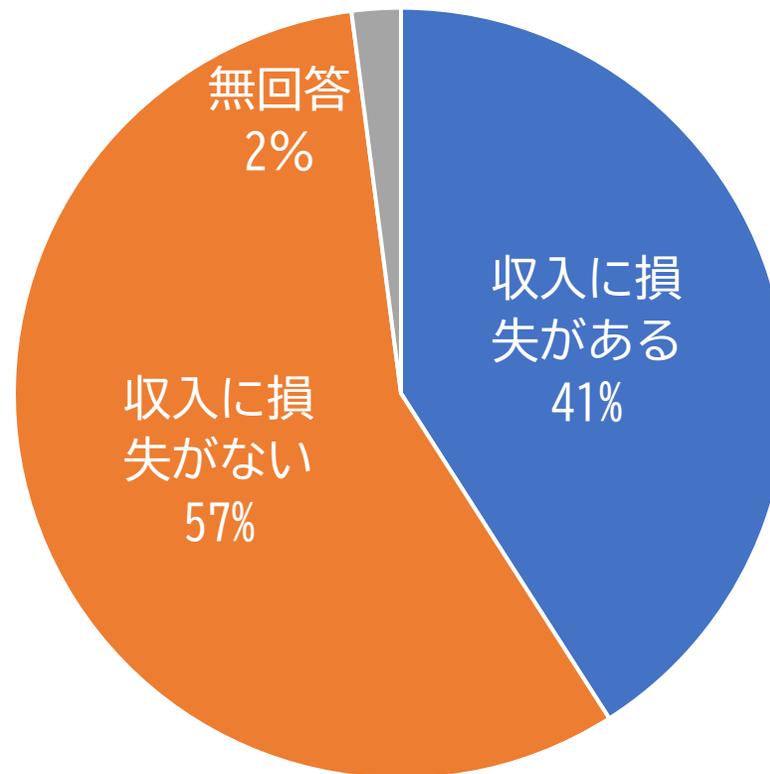
別の仕事をしている人の38%が正規雇用者



(3分野に統合、n=293)

① 個人対象アンケート | 別の仕事の収入の損失

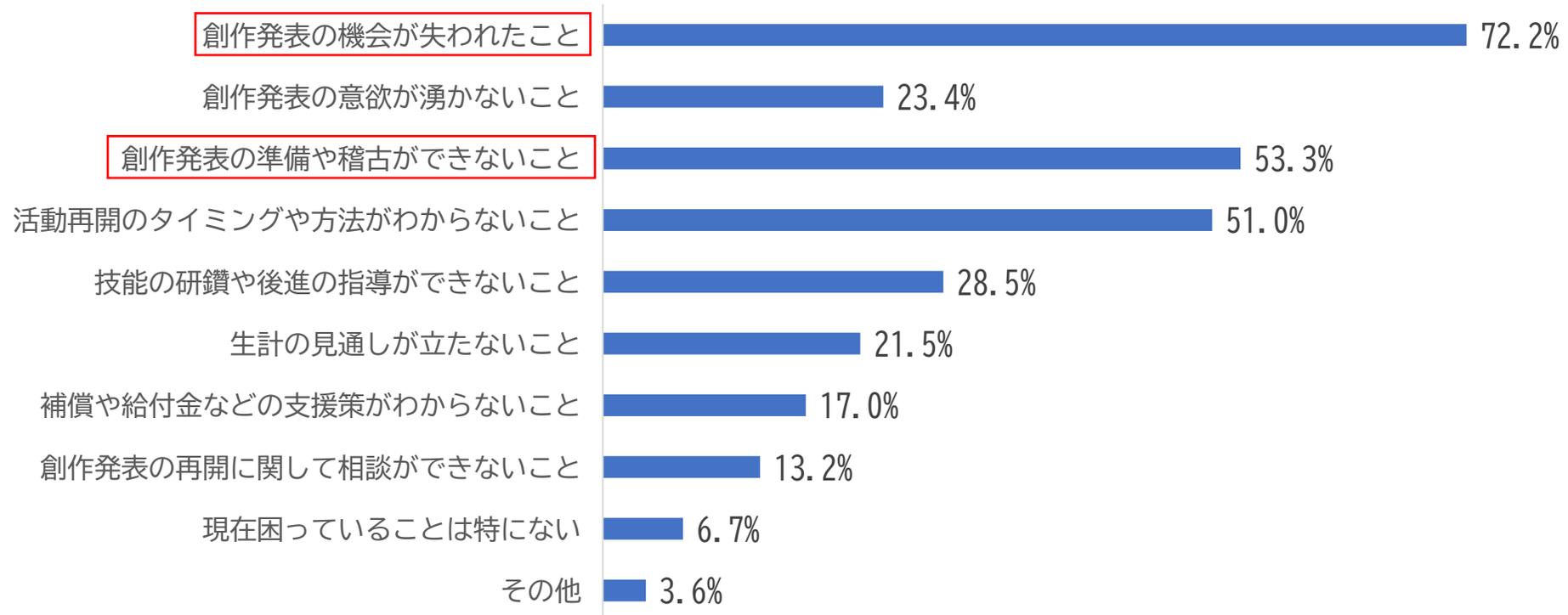
別の仕事をしている回答者のうち、41%がその仕事での収入にも損失がある。



(単一回答、n=293)

① 個人対象アンケート | 現在困っていること

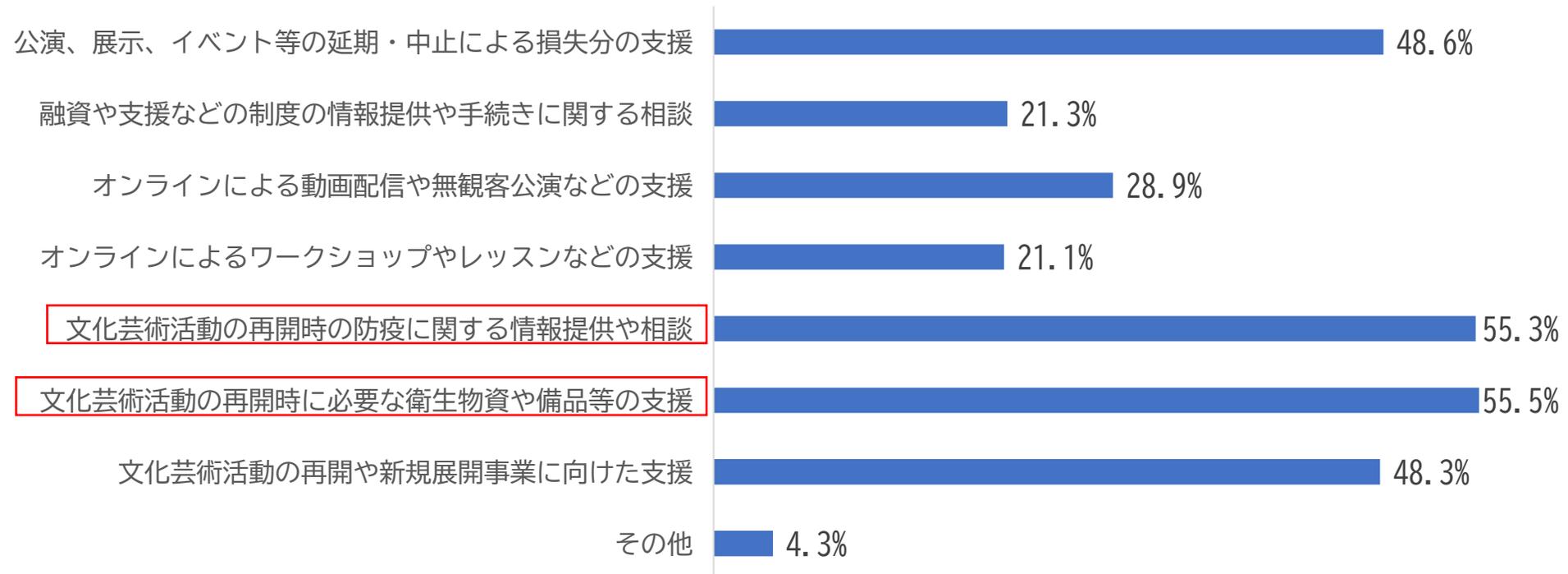
「創作発表の機会が失われたこと」が72.2%、「創作発表の準備や稽古ができないこと」が53.3%



(複数回答、n=418)

① 個人対象アンケート | 必要としている支援

「文化芸術活動の再開時の防疫に関する情報提供や相談」、「文化芸術活動の再開時に必要な衛生物資や備品等の支援」が約5割



(複数回答、n=418)

① 個人対象アンケート | 表現分野別の必要としている支援

活動再開時の支援に対するニーズが高い。

分野	n =	公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の支援	融資や支援などの制度の情報提供や手続きに関する相談	オンラインによる動画配信や無観客公演などの支援	オンラインによるワークショップやレッスンなどの支援	文化芸術活動の再開時の防疫に関する情報提供や相談	文化芸術活動の再開時に必要な衛生物資や備品等の支援	文化芸術活動の再開や新規展開事業に向けた支援	その他
音楽	266	52.3%	21.8%	31.2%	23.3%	61.7%	57.9%	46.6%	3.0%
美術	28	39.3%	21.4%	3.6%	25.0%	46.4%	57.1%	53.6%	0.0%
演劇・舞踊	31	35.5%	32.3%	32.3%	25.8%	61.3%	71.0%	61.3%	0.0%
映画・メディア芸術	5	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	60.0%	0.0%
伝統芸能・民俗芸能	25	44.0%	8.0%	44.0%	4.0%	48.0%	28.0%	52.0%	4.0%
生活文化	12	33.3%	16.7%	8.3%	16.7%	66.7%	66.7%	41.7%	0.0%
文芸	15	20.0%	13.3%	26.7%	13.3%	20.0%	20.0%	26.7%	26.7%
デザイン・建築・ファッション	2	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
ひとつに絞ることができない	23	60.9%	30.4%	34.8%	17.4%	43.5%	78.3%	69.6%	8.7%
その他	11	63.6%	9.1%	27.3%	9.1%	9.1%	18.2%	27.3%	18.2%

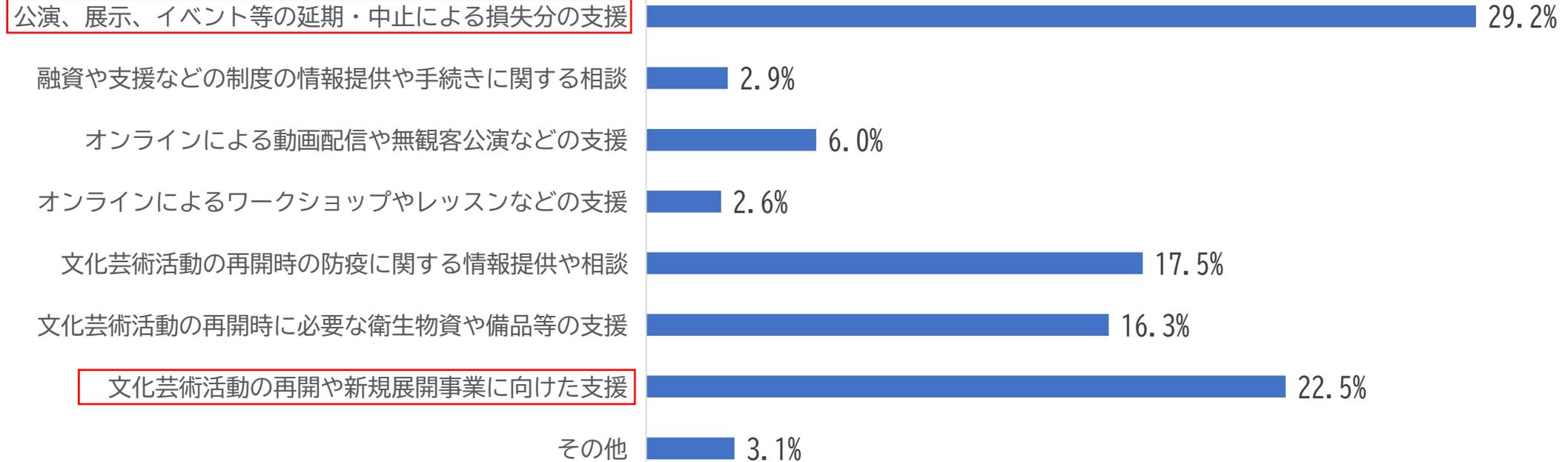
① 個人対象アンケート | 延期・中止のあるなし、損失額別による必要としている支援

「延期・中止による損失分の支援」と「活動再開時への支援」に対するニーズが高い。

分類	属性	n=	公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の支援	融資や支援などの制度の情報提供や手続きに関する相談	オンラインによる動画配信や無観客公演などの支援	オンラインによるワークショップやレッスンなどの支援	文化芸術活動の再開時の防疫に関する情報提供や相談	文化芸術活動の再開時に必要な衛生物資や備品等の支援	文化芸術活動の再開や新規展開事業に向けた支援	その他
延期・中止	ある	386	50.3%	22.0%	28.0%	20.2%	56.2%	55.2%	49.2%	4.1%
	ない	32	28.1%	12.5%	40.6%	31.3%	43.8%	59.4%	37.5%	6.3%
損失額	0円	136	25.0%	14.7%	25.7%	14.0%	61.8%	55.9%	39.7%	8.1%
	1万円以下	7	28.6%	0.0%	42.9%	14.3%	71.4%	71.4%	42.9%	0.0%
	10万円以下	84	50.0%	20.2%	27.4%	21.4%	53.6%	63.1%	53.6%	2.4%
	100万円以下	114	71.1%	30.7%	30.7%	25.4%	50.9%	50.0%	56.1%	2.6%
	1,000万円以下	16	87.5%	18.8%	25.0%	18.8%	50.0%	50.0%	56.3%	0.0%
	1,000万円超	1	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%

① 個人対象アンケート | 最も必要としている支援

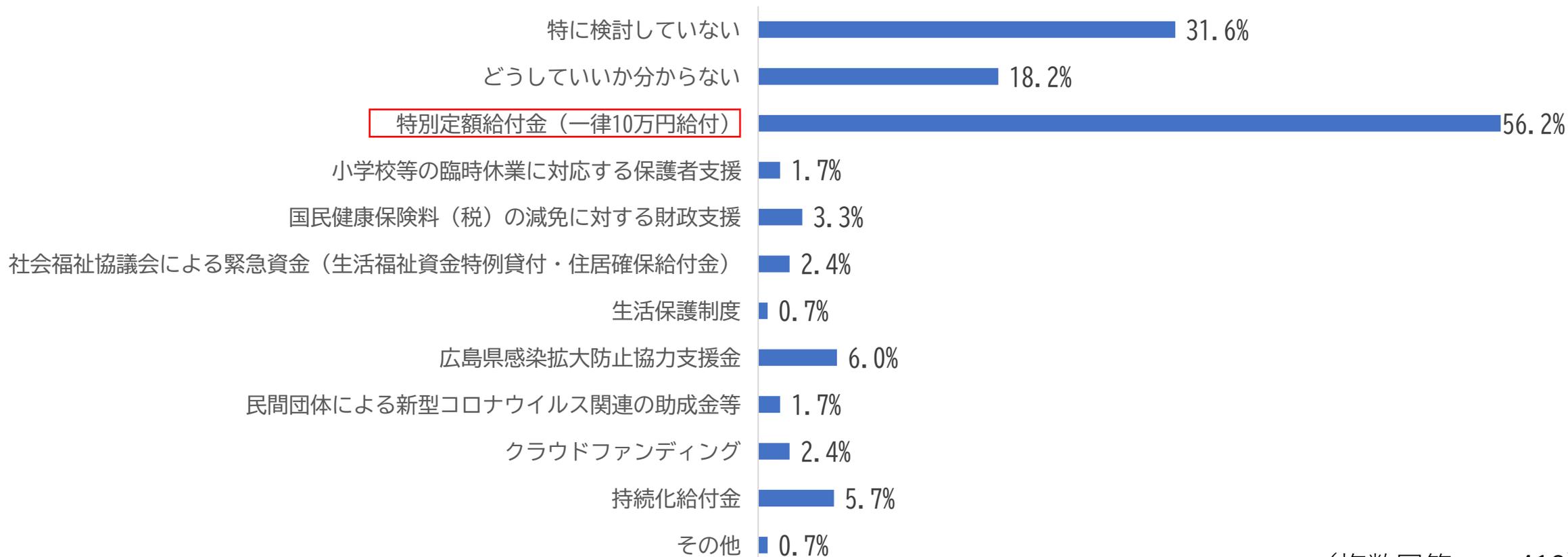
「延期・中止による損失分の支援」、「文化芸術活動の再開や新規展開事業に向けた支援」のニーズが高い



(単一回答、n=418)

① 個人対象アンケート | 活用している、または活用を検討している支援策や制度

「特別定額給付金（一律10万円給付）」が最も多い。



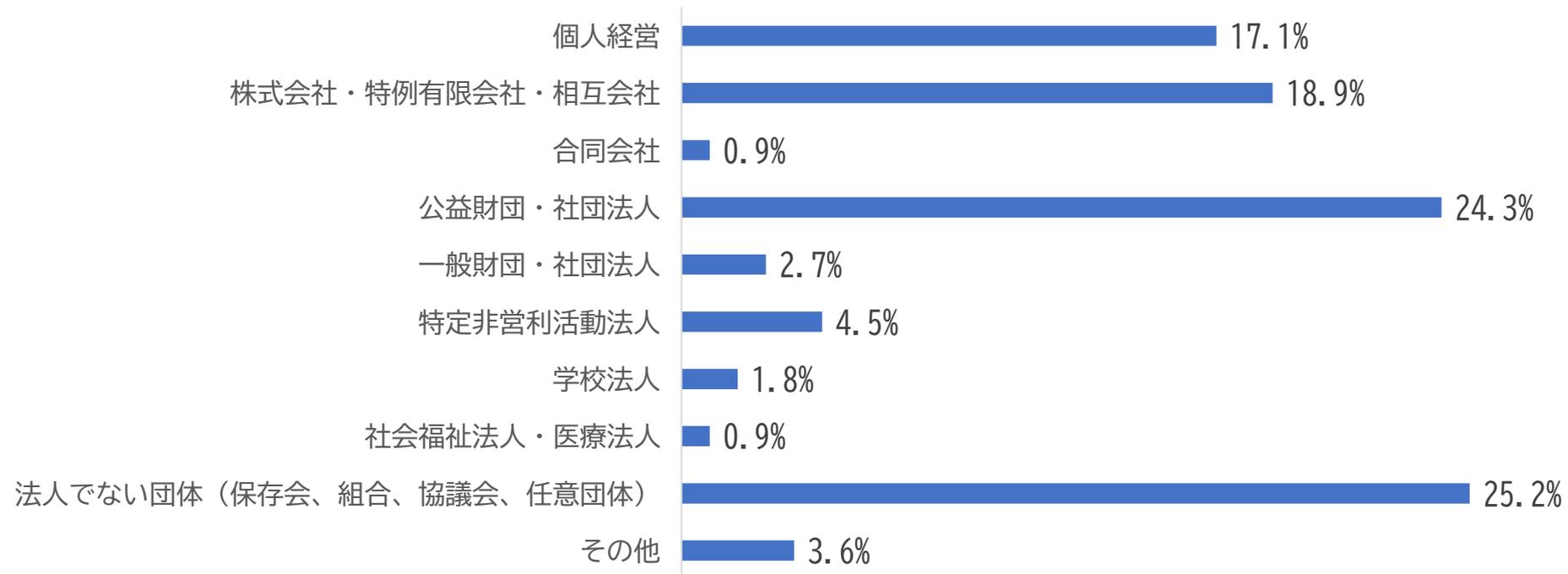
（複数回答、n=418）

調査対象 ②

団体・事業所対象アンケート

② 団体・事業所対象アンケート | 経営形態

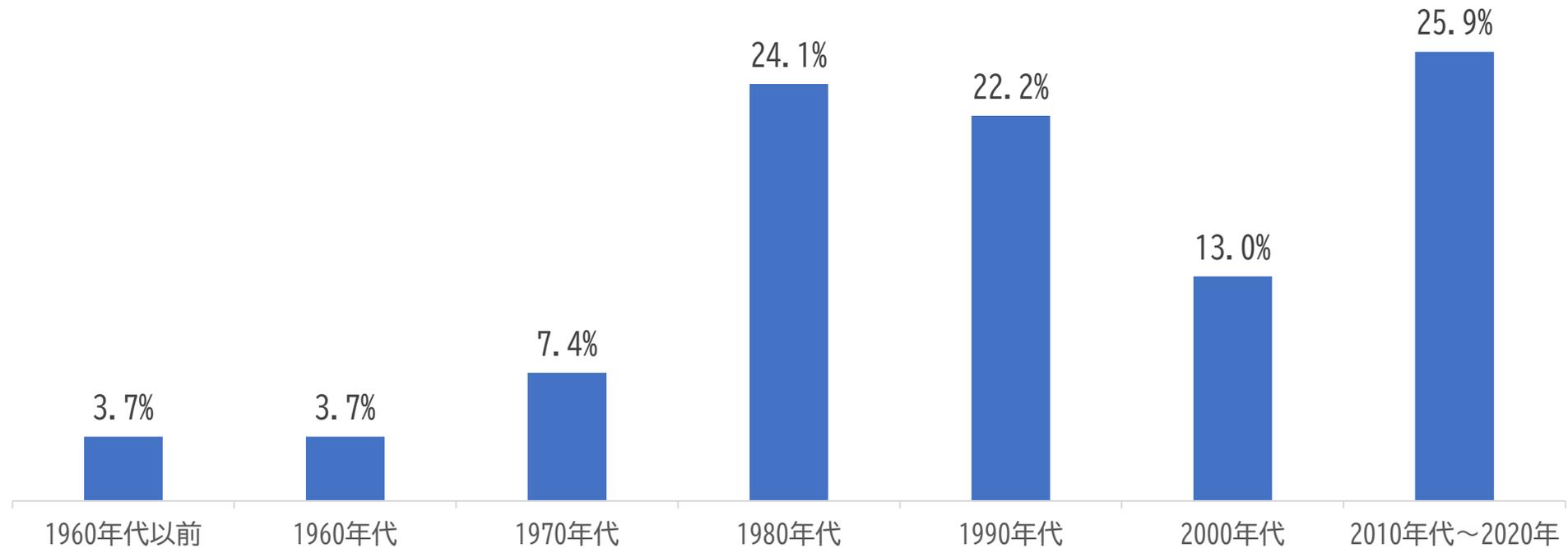
25.2%が法人でない団体、24.3%が公益財団・社団法人



(単一回答、n=111)

② 団体・事業所対象アンケート | 活動開始年

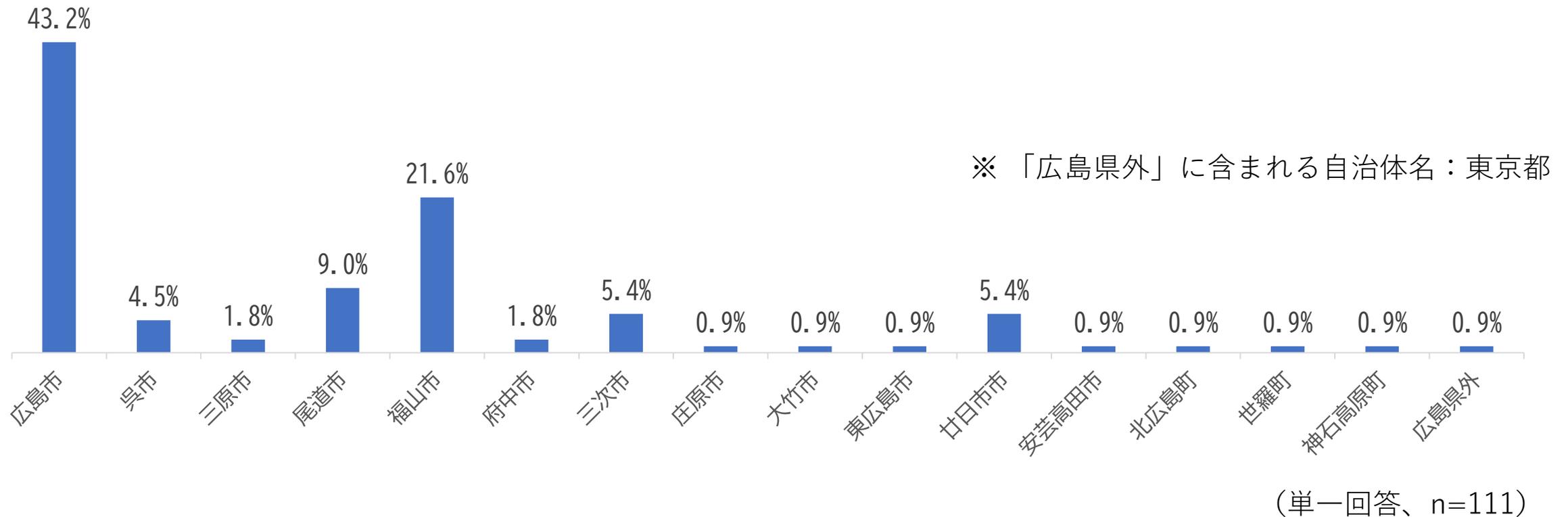
2010年代以降、1980年代、1990年代が約2割



(数値回答を分類、n=111)

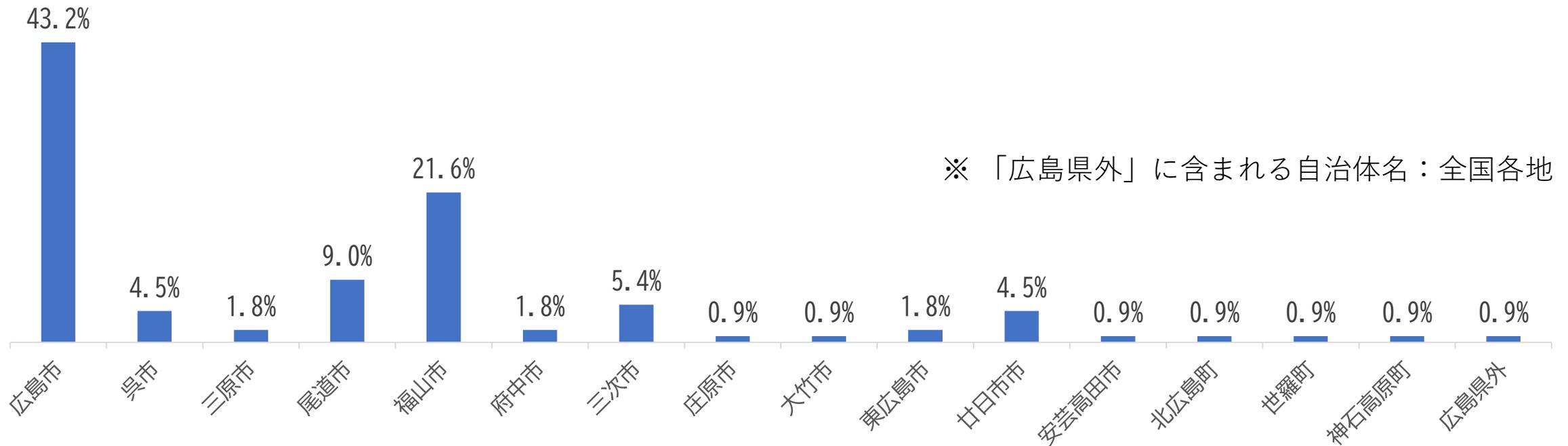
② 団体・事業所対象アンケート | 所在地

県内15市町に在する団体・事業所より回答を得た。



② 団体・事業所対象アンケート | 活動地

県内15市町で活動する団体・事業所より回答を得た。



(単一回答、n=111)

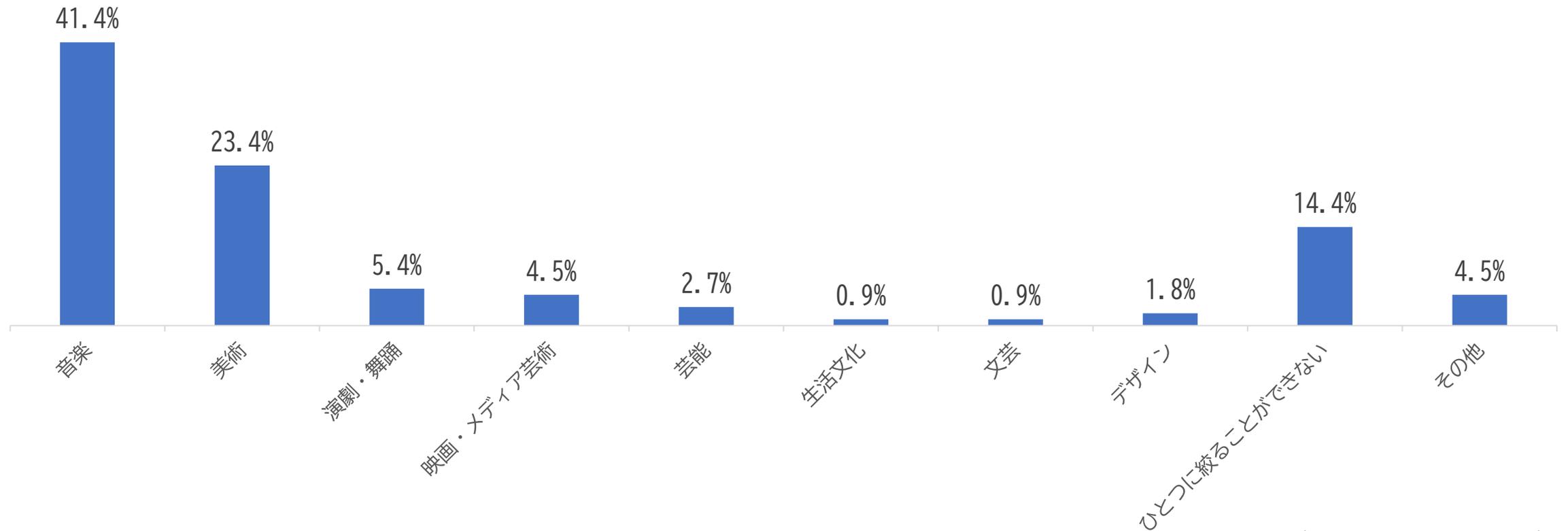
② 団体・事業所対象アンケート | 団体・事業所の従業者数【有償】 【無償】

団体・事業所の従業者数の計は、平均で32.4人、有償の従業者の平均は31.3人

	有償（人）		無給（人）	
	平均	最大値	平均	最大値
個人経営	7	56	1	5
株式会社・特例有限会社・相互会社	120	2000	0	4
合同会社	3	3	0	0
公益財団・社団法人	12	42	2	34
一般財団・社団法人	11	18	10	30
特定非営利活動法人	8	26	13	34
学校法人	14	25	0	0
社会福祉法人・医療法人	3	3	0	0
法人でない団体	13	51	39	599
その他	14	19	0	0

② 団体・事業所対象アンケート | 主たる表現分野

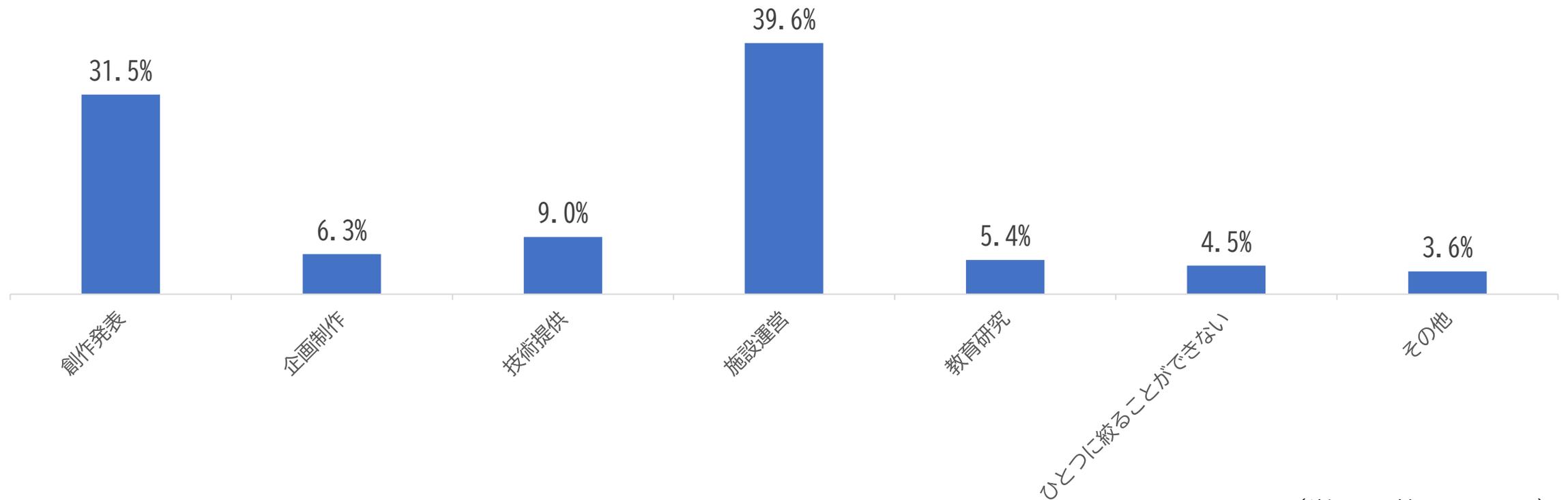
回答者の41.4%が音楽分野、23.4%が美術分野



(単一回答、n=111)

② 団体・事業所対象アンケート | 主たる技能分野

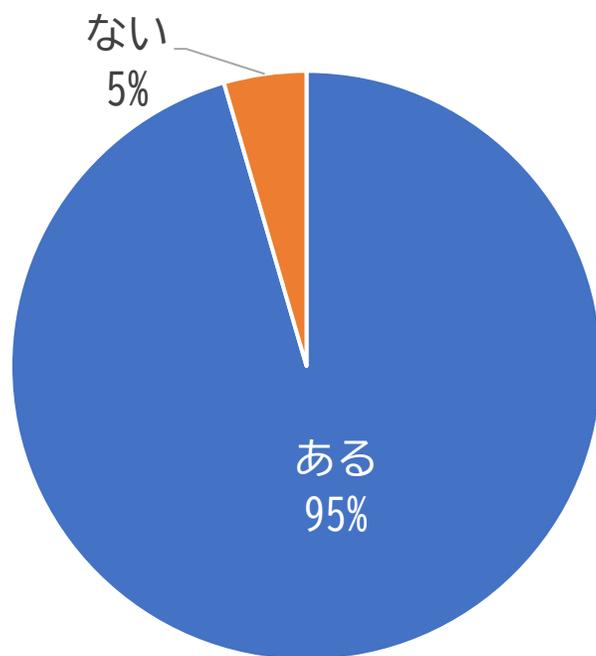
「施設運営」が39.6%、「創作発表」が31.5%



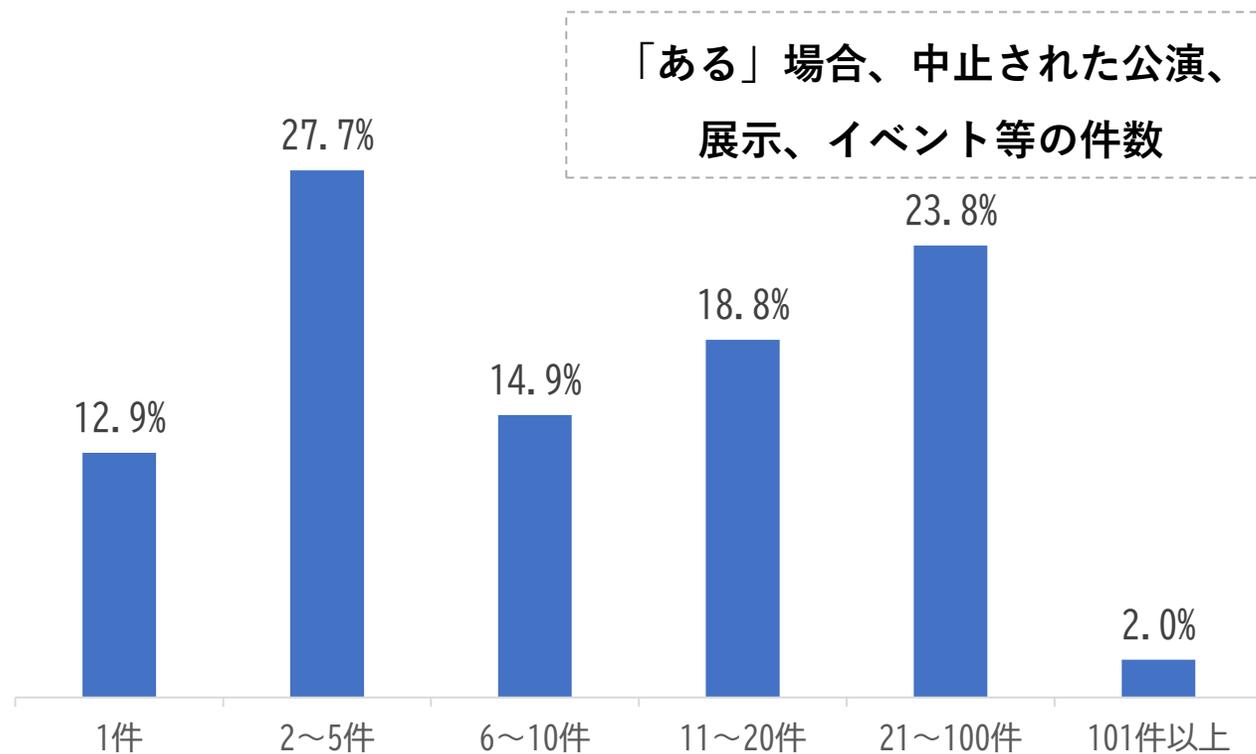
(単一回答、n=111)

② 団体・事業所対象アンケート | 感染拡大防止のための中止・延期があるか・何件か

公演、展示、イベント等の中止・延期がある回答者が95%



(単一回答、n=111)



「ある」場合、中止された公演、展示、イベント等の件数

(無回答、「0件」を除き数値回答を分類、n=101)

② 団体・事業所対象アンケート | 延期・中止による収入の損失額 (損失が発生してから5月分まで)

損失積算額は約7億5千万円、平均額は約365万円 (高額損失額を除く)

数値回答の件数	98件
高額損失額①	150,000,000円
高額損失額②最大値	250,000,000円
収入の損失額の合計	750,434,612円
収入の損失額の平均	7,657,496円
収入の損失額の平均 (高額損失額を除く)	3,650,361円

(無回答、異常値は除く)

② 団体・事業所対象アンケート | 技能分野別の収入の損失額

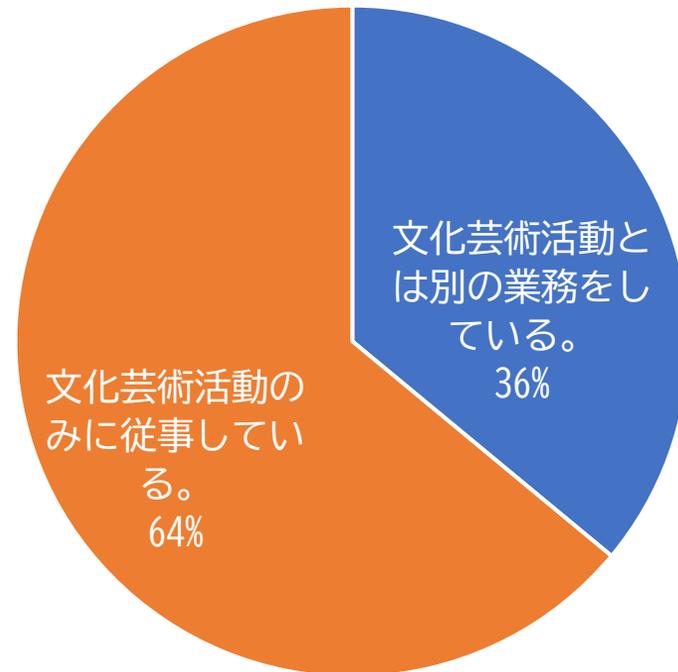
「技術提供」では、損失額の平均が他の分野よりも大きい。

	損失額の平均
創作発表	8,031,723円
企画制作	325,000円
技術提供	47,250,000円
施設運営	2,266,910円
教育研究	140,000円
ひとつに絞ることができない	4,600,000円
その他	375,000円

(無回答、異常値は除く)

② 団体・事業所対象アンケート | 文化芸術活動とは別の業務

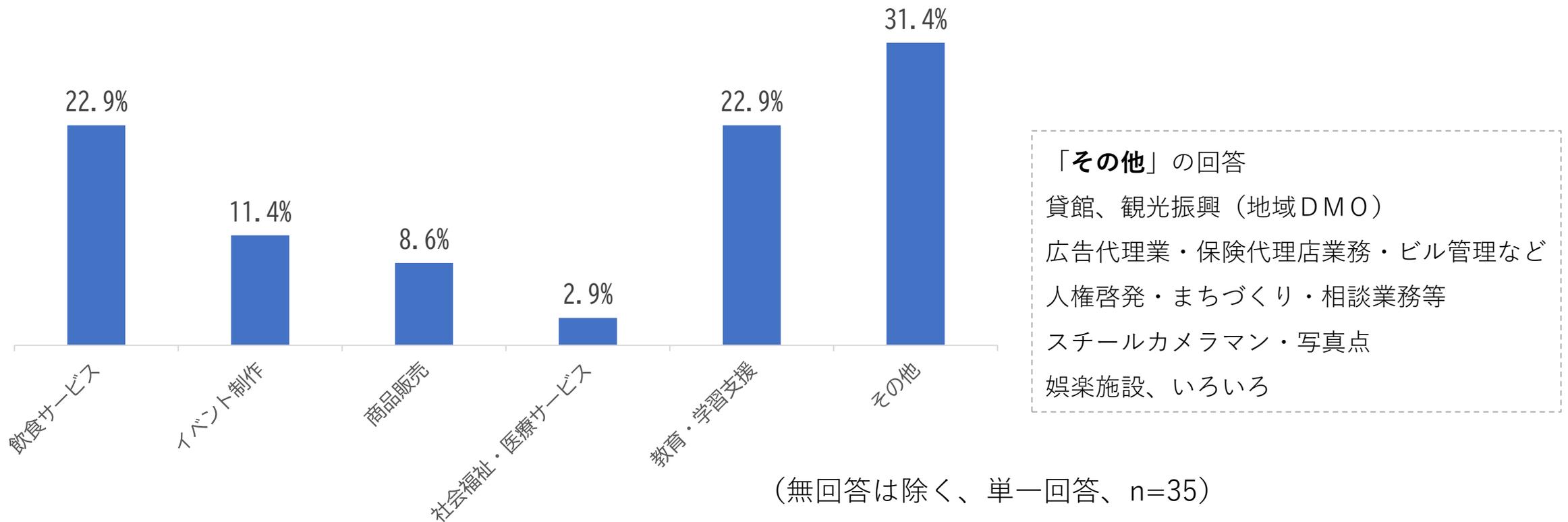
36%が文化芸術とは別に業務をしており、文化芸術活動のみの従事は64%



(単一回答、n=111)

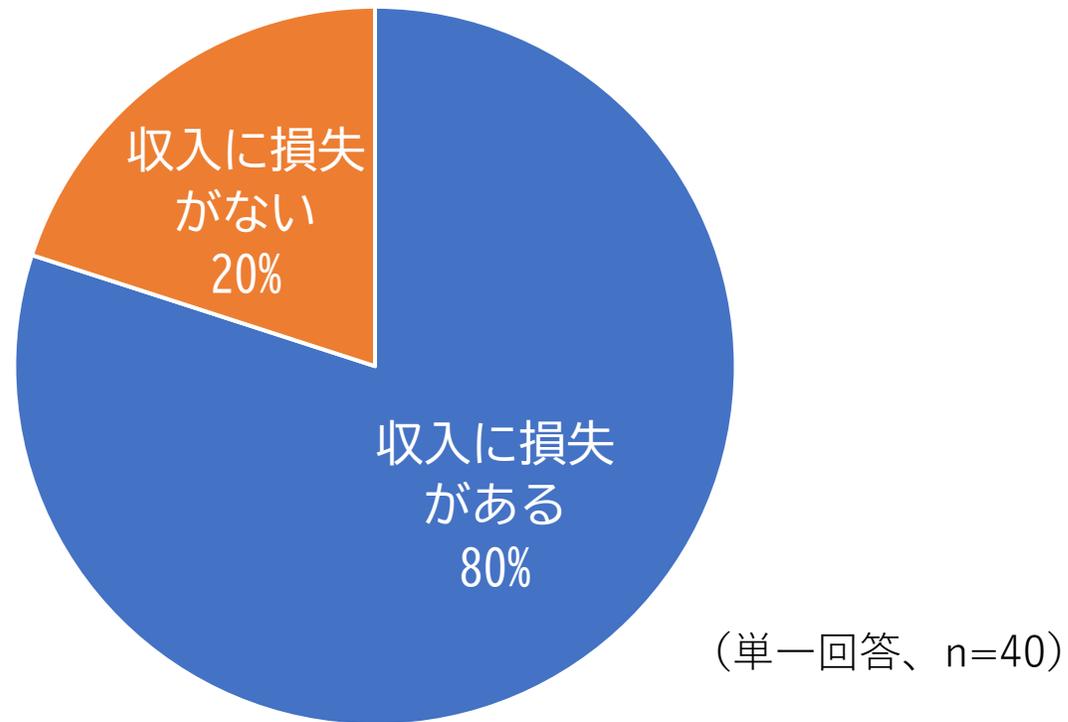
② 団体・事業所対象アンケート | 別業務の分野

別の業務として「飲食サービス」と「教育・学習支援」が22.9%



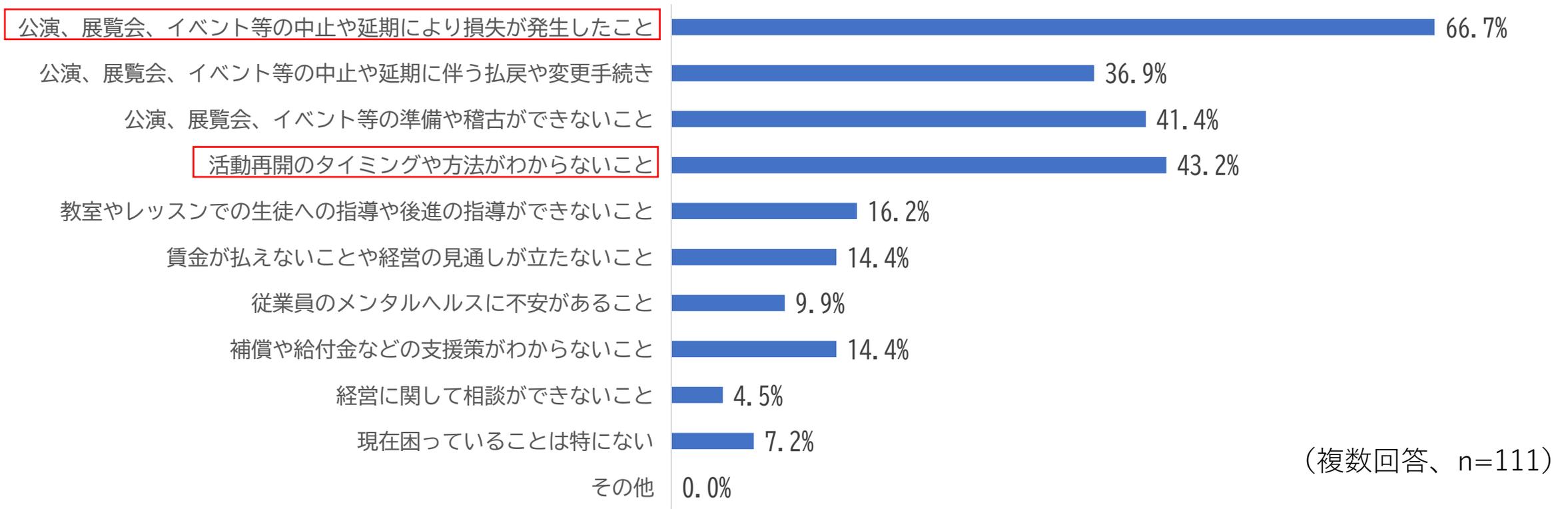
② 団体・事業所対象アンケート | 別業務の収入の損失

別の業務をしている回答者のうち、**80%がその業務での収入にも損失がある。**



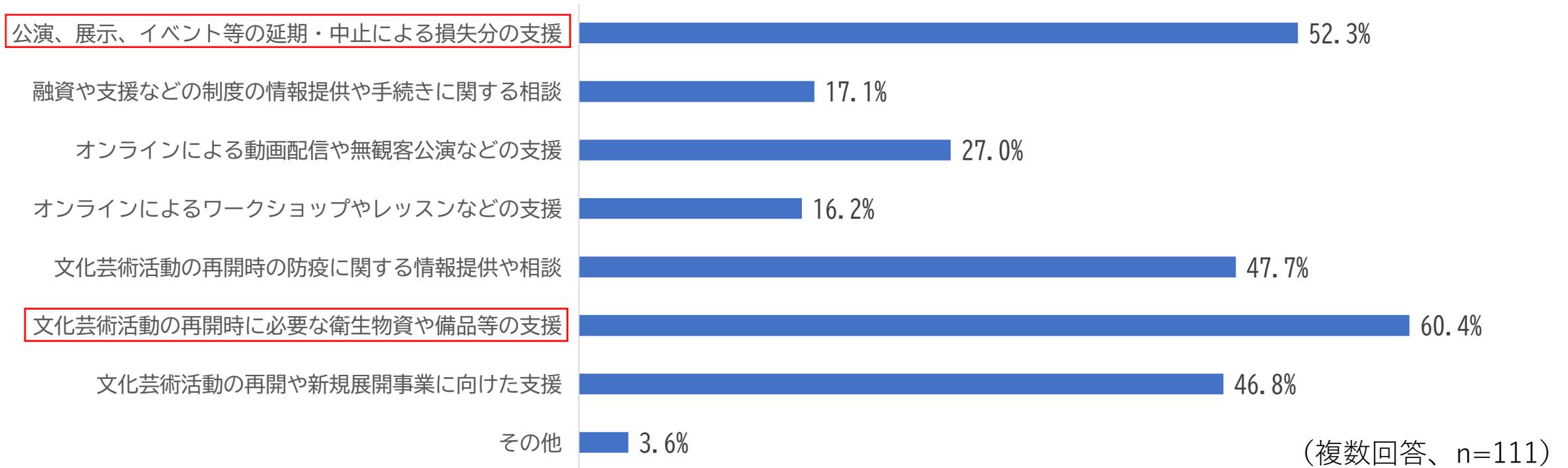
② 団体・事業所対象アンケート | 現在困っていること

「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の支援」が66.7%、「活動再開のタイミングや方法がわからないこと」が43.2%



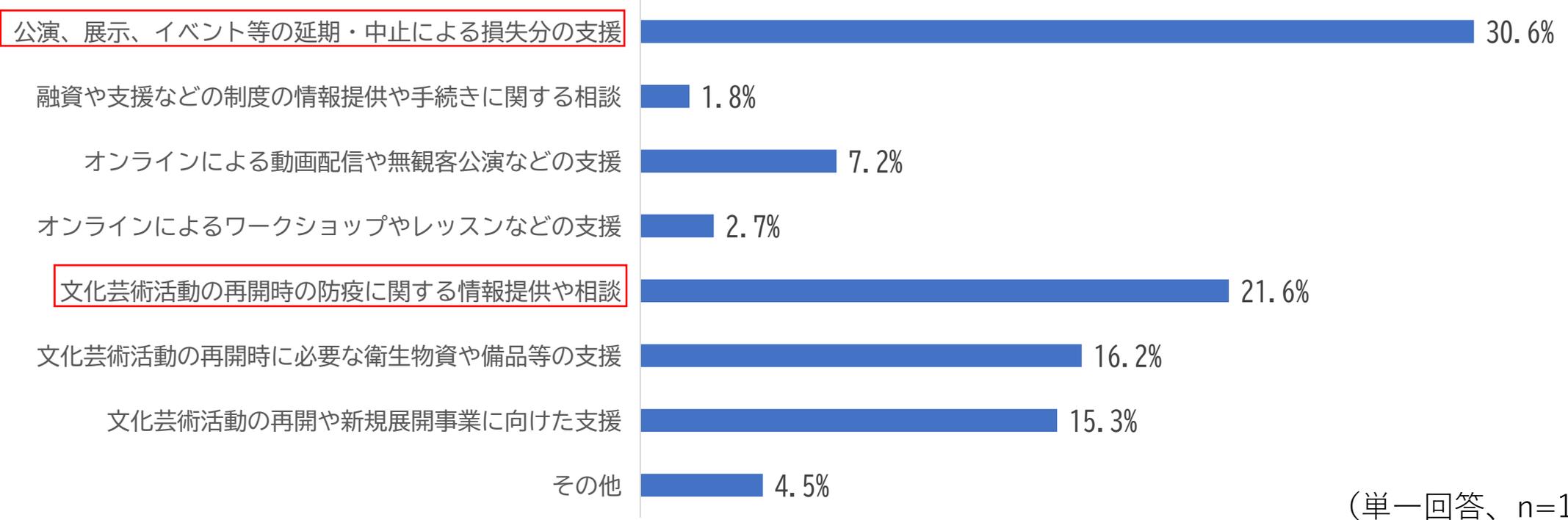
② 団体・事業所対象アンケート | 必要としている支援

「再開時に必要な衛生物資や備品等の支援」が60.4%、「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の支援」が52.3%



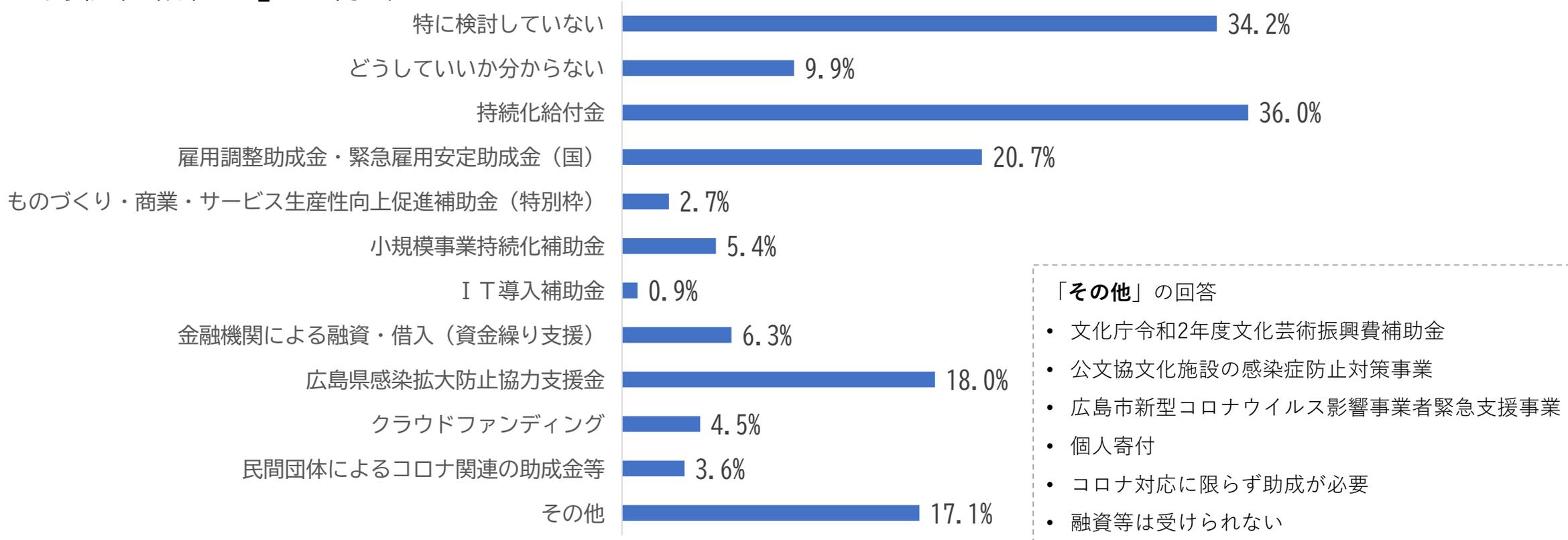
② 団体・事業所対象アンケート | 最も必要としている支援

「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の支援」が30.6%、「再開時の防疫に関する情報提供や相談」が21.6%



② 団体・事業所対象アンケート | 活用している、または活用を検討している支援策や制度

「持続化給付金」が約3割



（複数回答、n=111）

ご協力ありがとうございました



調査主体：
公益財団法人ひろしま文化振興財団